

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 6 月 1 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 9 番 藍原 章

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
② 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 1) 発 言 事 項	糖尿病性腎症重症化予防事業について
要 旨	<p>高島市における医療費削減と市民の健康寿命延伸を両立する施策として、糖尿病性腎症重症化予防事業は極めて重要な取り組みです。人工透析は患者本人の生活の質に大きな影響を及ぼすだけでなく、医療費も高額であり、国民健康保険財政への負担が大きいことから、重症化予防による透析導入抑制は医療費適正化の観点からも重要な課題となっています。</p> <p>高島市では、令和6年度から令和11年度を計画期間とする第3期データヘルス計画を策定し、その重点目標の一つとして「糖尿病性腎症による新規透析導入者数の増加の抑制」を掲げています。計画策定時（令和4年度）の新規透析導入者数は6人（健康高島21プラン第4次）であり、今後も増加させないことを目標としています。糖尿病は自覚症状が乏しいまま進行し、重</p>

症化すると糖尿病性腎症を引き起こし、最終的には人工透析が必要となる場合があります。

人工透析は患者本人や家族の負担が大きだけでなく、医療費の増大にもつながることから、糖尿病の早期発見・早期治療、さらには重症化予防の取り組みが極めて重要であります。

高島市が策定された第3期データヘルス計画では、「糖尿病性腎症による新規透析導入者数の増加の抑制」を重点目標として掲げられています。

そこで、以下の点についてお伺いいたします。

① 現在の取り組み状況について

糖尿病性腎症重症化予防事業として、

- 対象者の抽出方法
- 医療機関への受診勧奨
- 保健指導や栄養指導
- 医師会や医療機関との連携

について、現在どのように取り組まれているのかお聞かせください。

② 成果と課題について

これまでの事業実施によって、

- 対象者数
- 受診勧奨後の医療機関受診率
- 保健指導実施者数

- 新規透析導入者数の推移

など、どのような成果が得られているのか。また課題をどのように認識しているのかお伺いします。

③ 今後の強化策について

厚生労働省は糖尿病性腎症重症化予防プログラムを推進し、自治体と医療機関が連携した取り組みの強化を求めています。

高島市として、

- CKD（慢性腎臓病）対策との連携
- 健診受診率向上
- 若年層からの生活習慣病予防
- ICT やアプリを活用した継続支援

など、今後どのように事業を発展させていく考えかお伺いいたします。